



投資家のみなさまへ

# 2022年7月期 第3四半期 決算報告

2022年6月3日

株式会社 アルチザネットワークス

(銘柄コード 6778)

<https://www.artiza.co.jp/>

## 注記

本資料に掲載されている株式会社アルチザネットワークスの現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社アルチザネットワークスの経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

# 22/7期 Q3 決算報告

# 22/7期 Q3 サマリー

## ■ 業績概要

- ・ 売上高は+223百万円 前年同期比で増収
- ・ 利益面も増収により、前年同期比で増益

**注)** 22年7月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準等29号）等を適用しているため、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。影響する項目については、対前年同期比や増減額等の数値の記載は控えさせていただきます。

## ■ 事業状況

- ・ モバイルネットワークソリューション（移動体通信関連）の売上は国内向けの販売及びテストサービスが堅調に推移し増収
- ・ IPネットワークソリューションの売上は前年同期比で減少

## ■ 業績予想

2022年3月3日発表の業績予想に変更なし

# 22/7期 Q3 決算ハイライト

	21/7期 Q3実績		22/7期 Q3実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,344	100.0	3,568	100.0	-	-
売上総利益	2,223	66.5	2,967	83.2	-	-
営業利益	789	23.6	1,446	40.5	-	-
経常利益	779	23.3	1,437	40.3	-	-
当期純利益	575	17.2	913	25.6	-	-
総資産	8,851	100.0	10,193	100.0	-	-
純資産	6,410	72.4	7,435	73.0	-	-

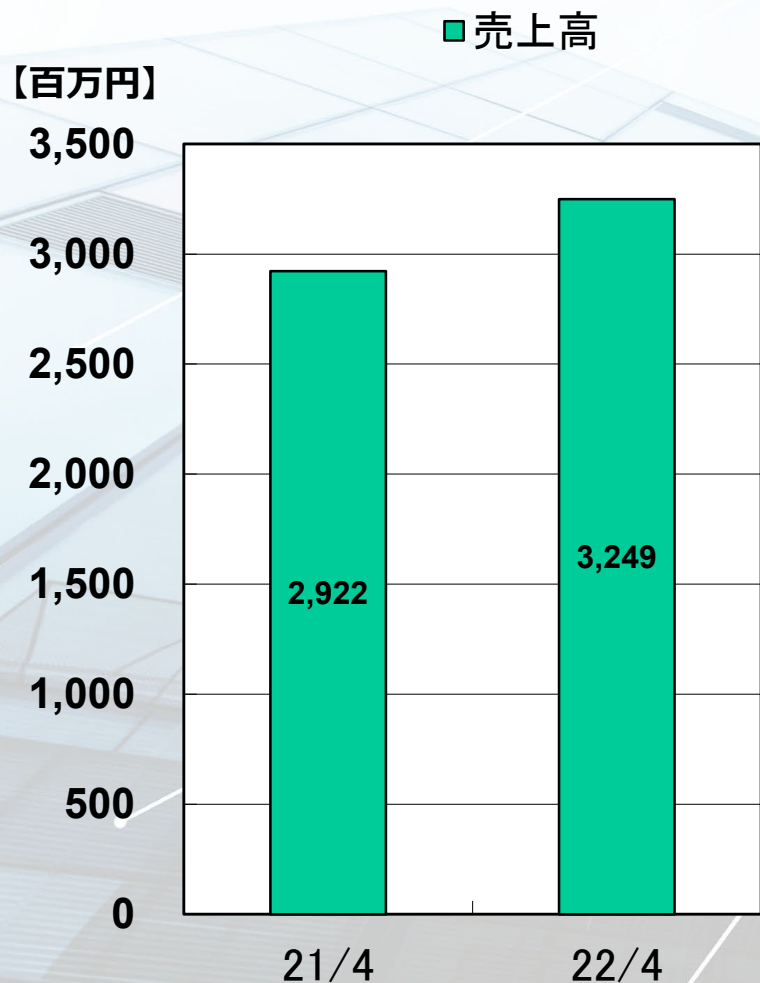
- ・ 売上構成の変化（堅調な国内向け販売におけるソフトウェア販売の比率上昇）により、売上総利益率が上昇し、利益増額。
- ・ 総資産は10,000Mを超え、純資産、自己資本比率も高水準を維持。

# 22/7期 Q3 セグメント別売上高実績

	21/7期 Q3実績		22/7期 Q3実績		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
モバイルネットワーク ソリューション	2,922	87.4	3,249	91.0	-
IPネットワーク ソリューション	422	12.6	319	9.0	-
合計	3,344	100.0	3,568	100.0	-

- ・モバイルネットワークソリューションは5G製品の国内向け販売が堅調に推移し、テストサービスも底堅く、社外商材も加わり増収となった。
- ・IPネットワークソリューションは、パケットキャプチャ製品の販売に注力したが新製品切替えの端境期にあたり、前年同期比では減収となった。

# 22/7期 Q3 売上実績 (モバイルネットワークS)



■ 前年同期増減額 +326M  
前年同期増減率 +11.2%

- 5Gに対応するLoad Testerの国内向け販売
- 4G向け製品の国内及び海外への販売・保守
- 5G及び4Gに関する基地局テストサービス

国内の5Gに対応する基地局向けLoad Testerの販売が堅調に推移し、テストセンターの稼働によりテストサービスも伸長、社外商材も加わった結果、増収となった。

# 22/7期 Q3 売上実績 (IPネットワークS)

【百万円】

500

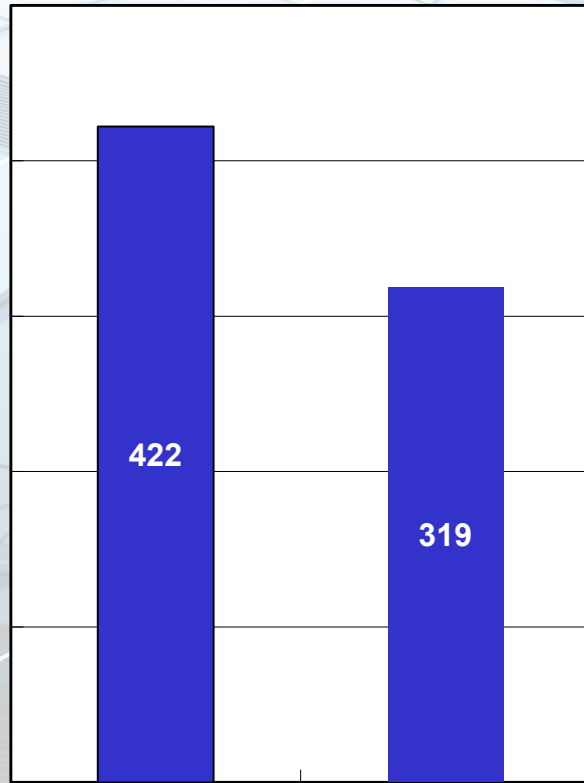
400

300

200

100

0



21/4

22/4

■ 前期増減額      △102M

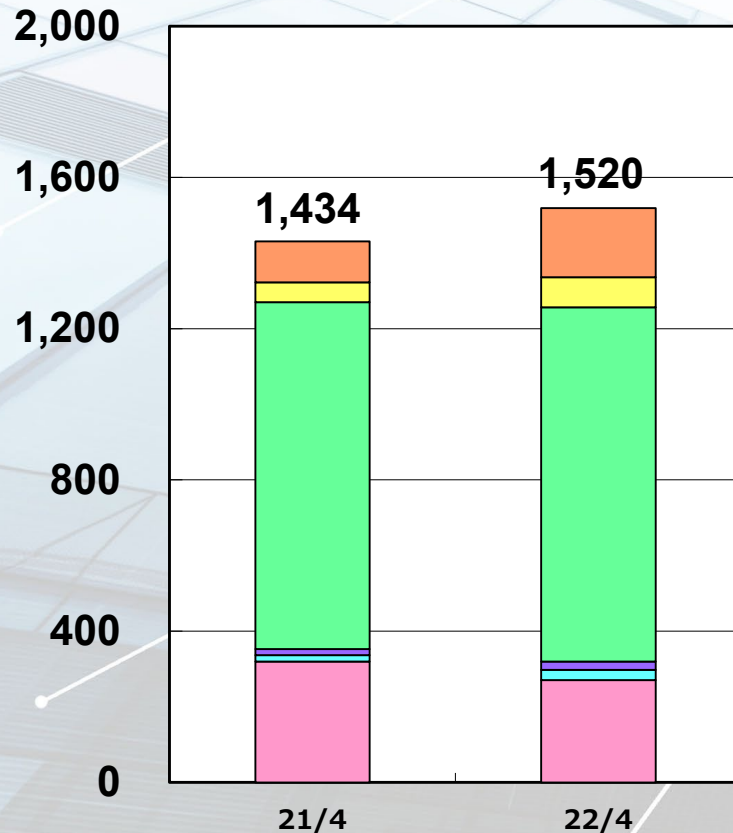
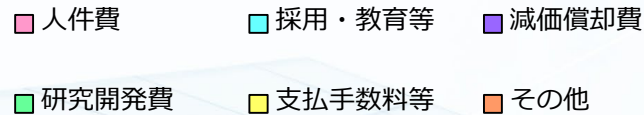
前期増減率      △24.4%

- パケットキャプチャ製品の販売
- コアネットワークテストの販売
- 各種ネットワークテストの社外製品の販売

パケットキャプチャ製品が新製品へ切り替えの  
端境期にあたり、減少した結果、IPネット  
ワークセグメント全体では減収となった。



# 22/7期 Q3 販管費の状況



【百万円】

	21/7期 Q3実績	22/7期 Q3実績	
	百万円	百万円	増減率 (%)
販売管理費計	1,434	1,520	6.1
人件費	320	271	△15.3
採用・教育費等	17	27	51.9
減価償却費	16	22	33.8
研究開発費	917	936	2.0
支払手数料等	52	80	53.4
その他	109	183	68.5

- ・研究開発費は、ポケットキャプチャ関連は減少したが、5G関連の研究開発は、将来のグローバル展開に向けた準備と堅調な国内販売を背景に増加。
- ・人員は増加しているが、前期は好調な業績を背景に賞与等を増額したため、人件費は前年同期では減少となった。
- ・引き続き注力している人材関連費用は増加。

以上の結果、販管費は前年同期比で86Mの増加となった。



# 22/7期 計画

## 22/7期 Q3 計画差額 (損益計算書)

	22/7期 計画	22/7期 Q3実績		
	通期 (百万円)	Q3実績 (百万円)	Q3差額 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	4,500	3,568	△931	79.3
営業利益	1,400	1,446	46	103.3
経常利益	1,384	1,437	53	103.9
当期純利益	944	913	△30	96.7
1株当たり配当	20.00円	20.00円		

- ・売上高は通期計画に対して79.3%の進捗率  
コロナ禍の影響等で海外向け販売は計画を下回る見通しとなったが、引き続き堅調な5G関連の国内向け販売とテストサービス等でカバー。
- ・下期は来期売上案件向けの研究開発投資等も重なることから、2022年3月3日発表の連結業績予想に変更なし。

## 22/7期 通期 計画差額 (セグメント別売上)

	22/7期 計画	22/7期 Q3実績	
	通期 (百万円)	Q3実績 (百万円)	進捗率 (%)
モバイルネットワーク ソリューション	4,038	3,249	80.4
IPネットワーク ソリューション	461	319	69.3
合計	4,500	3,568	79.3

- ・ モバイルネットワークSは、通期計画に対して80.4%の進捗率
- ・ IPネットワークSは、通期計画に対して69.3%の進捗率
- ・ 通期セグメント別売上計画に変更なし

# IRに関するお問合せ

管理統括本部

E-mail: [ir@artiza.co.jp](mailto:ir@artiza.co.jp)

ダイヤルイン: 042-529-3494